

会議録【要点筆記】

会議名称	第1回米沢市雪対策総合計画外部検討委員会	
開催日時	令和5年6月8日（木） 午後1時30分～午後3時30分	
開催場所	米沢市役所 3階 303会議室	
出席者	（委員等氏名） 委員長 樋口 健志 委員 数見 等 委員 上浦 浩輝 委員 佐藤 哲 委員 関谷 知樹 委員 高橋 里佳 委員 新関 民代 委員 我妻 康次 委員 渡部 高久	（所属団体等） 国立大学法人山形大学工学部 化学・バイオ工学科助教 置賜広域行政事務組合消防本部 消防次長兼米沢消防署長 社会福祉法人米沢市社会福祉協議会 地域福祉係長 米沢市小中学校長会 会長 米沢市地区委員会 副委員長 米沢警察署警備課 警備係長 米沢市民生委員・児童委員連合協議会 理事 米沢市コミュニティセンター館長会 会長 山形県置賜総合支庁建設部道路計画課 道路管理主幹
欠席者	（委員等氏名） 副委員長 金子 利貞 委員 小泉 玲子 委員 齋藤 定雄 委員 土田 一成 委員 我妻 弘一	（所属団体等） 山形県建設業協会米沢支部 事務長 一般社団法人米沢観光コンベンション協会 理事 女性部会長 米沢市身体障がい者福祉協会 会長 米沢地区交通安全協会 会長 米沢商工会議所建設部会 常任委員
事務局出席者	企画調整部長、地域振興課長、地域振興課長補佐、地域振興課地域振興主査、地域振興課主任（地域振興担当）、地域振興課主事（地域振興担当）、高齢福祉課長、土木課長	
会議次第	1 開会 2 委嘱状交付 3 副市長あいさつ 4 会議等の公開について 5 委員長及び副委員長選出 6 議事 （1）雪対策総合計画について （2）市民アンケート結果について （3）意見交換 （4）その他 7 その他 8 閉会	
会議資料	議事次第・委員名簿 【資料1】 会議等の公開について 【資料2】 米沢市雪対策総合計画について 【資料3－1】 米沢市雪対策に関するアンケートについて 【資料3－2】 米沢市雪対策に関するアンケート集計結果について 【資料4】 米沢市雪対策総合計画検討委員会設置要項	

	【参考資料】 米沢市雪対策総合計画（平成30年度～令和9年度） 【その他資料】 米沢商工会議所建設部会提出資料
会議内容	
【1～3 省略】 【4 会議等の公開について】 （資料1について事務局より説明） 会議の公開について全委員より了承された。 【5 委員長及び副委員長選出】 米沢市雪対策総合計画検討委員会設置要項第5条により、正副委員長を委員が互選。委員長に樋口健志委員、副委員長に金子利貞委員が選任された。 【6 議事】 （1）雪対策総合計画について （資料2について事務局より説明） （2）市民アンケート結果について （資料3について事務局より説明） （3）意見交換 委員長：米沢商工会議所建設部会提出資料について。このような問題は市民の方は業者の事情を知る機会が少ないため、アンケートに反映されにくい。アンケート結果に表れない問題でも市民の方に影響する問題もある。アンケート結果からの要望や要求を実現するには一歩先を考えなければならないと思う。 委員：不満の部分が多いのは、市の除雪作業の質が問題だからだと思う。 新たなオペレーターになった際、前のオペレーターからの引継ぎができているかが重要であるため、正しい引継ぎを行うことで満足度が高まると思う。また経験が浅いオペレーターは上達するまで1、2年ほど時間がかかる。それを地元の方が理解する必要がある。オペレーターに求める能力は基本的な技能と共に、地区特有の地形に合った除雪ができる技能の両方含めたもの。 委員：ここ近年コロナ禍の影響で、オペレーターの確保が難しい。オペレーターの急な体調不良により他から急遽駆り出されたという事例もあった。そういった面は大目に見てほしいと思う。 委員：除雪ボランティアに期待している市民は多いが、除雪地域が遠いと来てもらえない。そこに行くまでの足がない。それがもったいない。上郷地区では米沢市立第7中学校に年に1回してもらっているが、学校から徒歩10分の場所のみしかしてもらえない。せっかくのボランティアを活用しきれていないのではないか。 また除雪の助成金制度はあるが、利用できる条件があるため利用しにくく、手続きが複雑で面倒。民生委員が手伝って申請したという事例もあったと聞いた。簡単に申請できるようにしてほしい。押雪は町内会長へ連絡し、業者のオペレーターへ要望を伝えている。町内での伝え方が確定している。 事務局：高齢福祉課が担当で行っている除雪対策支援制度として、高齢者等雪下ろし助成事業、高齢者等除雪援助員派遣事業がある。どちらも対象者の要件を設けており、単身高齢者等の課税額要件が含まれている。手続きについては高齢者の方が申請しやすいよう、簡潔にわかりやすく申請ができるように改善図っている。除雪ボランティアは社会福祉協議会が実施している。令和4年度は、板	

谷地区にて集中的に行った。要望に合わせて市民の方の自主的な活動を支援している。

委員：除雪ボランティアについては、旧小学校単位で支部社協というものがあり、支部長向けに集中活動のボランティアが欲しい場合は依頼してほしい旨は伝えている。上郷地区でも支部長を通じて伝えていただければ対応できる。

雪というと、暗い・重いイメージがあり、アンケート結果にも表れている。社会福祉協議会の立場から申し上げると、自助公助共助の部分のうち共助を強くしていきたい。除雪ボランティアは市内の高校、企業、個人の方がほとんどだが、毎年県外からボランティアに来てくださる方がいる。市内の方は自分の家の除雪で精一杯（自助）だが、県外のボランティアの方は一生懸命に楽しみながら除雪している。山形県では県外ボランティアの方へ宿泊費や交通費を助成する事業を行っているようで、そのような事業と連携していきたい。

アンケート結果について、除雪ボランティアしたいと思わない人が 8 割だったが、逆に言うと 2 割くらいは参加してもいいということ。やってもいいかなと思う人が増えるように周知に力を入れていきたい。市の LINE の効果が高いと思っている。除雪ボランティアについて、米沢市にご協力をお願いしたい。

押雪軽減については、隣人同士のつながりが重要だと思う。地域のつながりが希薄化している地区では隣の方がどなたか分からない場合もあり協力し合うことが難しい。町内会などで連携することが大切だと思う。

委員：令和 4 年 1 月の大雪時、私の地区では除雪が追いつかない状況が 1 ～ 2 週間続いた。突発的な大雪の時の対応についてどのような体制であるのか。

委員：今年から運搬排雪の実施要項を策定した。歩道が何メートルまで細くなった場合などではなく、早め早めの排雪を行うこととした。具体的には交差点付近などを優先的に行った。

委員：共助という体制が必要だと思う。市の除雪は地区の隅々まではできず、通学路が狭い場所もある。3 年前から地域の支え合い除雪を活用し、少し補助をもらいながら通学路の幅を確保、高齢者宅の押雪処理を行う組織を作った。市の業者に地区の末端まできれいな除雪を依頼するのは難しい。そこをカバーするためには、地域で行うしかないためこれからも続け、少しでも大きな組織にしていきたい。

委員：子供たちの通学路の安全確保が大きな課題だと思う。また他県出身の教員でスキーや自然を楽しむ方も永住は雪が原因で難しいという声を聞く。安全な通学路の確保、住みやすさ、子育てのしやすさは移住定住や人口増減にも大きく影響すること。雪の対策に関しては各方面で知恵と力を出し合って進めていく必要がある。

委員：警察としては雪下ろしが正しい方法で行われているのか、命綱やハーネスをつけて行っているか、一人で行っていないか等、事故が起こる前にできることを徹底してほしい。雪下ろしの適正な方法を警察からは広報を行い、米沢市とも協力しながら周知していきたい。

委員長：公助だけには頼りきれないところがあり、地域内での共助の仕組みをいかにつくっていただけるのかという意見が多かった。また今ある制度は決して悪いものではないため、制度の使いやすさや周知を見直す必要があるのではと考える。

(4) その他
なし。

【7 その他】

- ・次回の予定（事務局から）

7月10日（月）午後開催予定。アンケート結果を基に見直し方針の検討を行う。正式な案内は後日送付する。

- ・報酬支給について（事務局から）

6月16日（金）口座振込予定。支給明細書等は後日送付する。

【8 閉会】